

久留米市長メッセージ 〈緊急事態宣言の延長を受けて〉

4月7日に「緊急事態宣言」が発令されて約1ヵ月が経ちます。この間、休業要請や外出自粛要請にご協力いただいた事業者の皆さま、市民の皆さまに、心から感謝を申し上げます。また、長期間にわたり、医療の最前線を命がけで支えていただいている医療関係者の皆さまに、改めて敬意を表します。

国民の多大なる協力により、国内的には感染者数の減少傾向が見られますが、依然として予断を許さない厳しい状況にあり、5月4日、政府は現在発令している「緊急事態宣言」を5月31日まで延長することを決定しました。

これを受け福岡県では、引き続き県民の皆さんへ、改めて休業協力要請と外出自粛要請を行うことを決定しています。久留米市としても、市民の皆さまには、引き続き、これらの要請にご協力いただきますようお願いいたします。

緊急事態宣言が延長され、多くの方が今後についての不安感や不透明感を強く抱かれています。緊急事態宣言の「出口」については、福岡県と議論をしており、休業協力要請の緩和や学校休校措置の緩和・解除について、透明で納得がいく様な基準での緩和・解除を行っていきたいと考えています。

また、特別定額給付金につきましては、5月1日よりマイナンバーカードによる電子申請受付を開始しています。今月中旬には郵送申請を、月内には指定口座への給付金振り込みを開始できるように、担当職員を大幅に増強し、久留米市役所一丸となって取り組んでいるところです。

今、我が国は新型コロナウイルス感染が拡大するか、封じ込めることが出来るかの大きな岐路に立っています。久留米市におきましても大規模なクラスターが発生し、市内の感染者数は50名にも迫る勢いです。

世界中を席卷する新型コロナウイルスの脅威は、現代の最先端医療でさえも容易に乗り越えることは難しく、私たち一人ひとりがその脅威を自覚し、日常生活の行動変容に努め、そして一丸となり立ち向かうことが大切です。

申すまでもなく、市民の皆さまに、さらなるご負担・ご不便をかけるこれらの要請は、苦渋の選択でもあります。久留米市としましても、市民の皆さまの生活状況や事業者の皆さまの状況を十分把握し、必要となる施策や精一杯の支援に尽力してまいります。

市民の皆さま方には取り巻く状況を十分にご理解いただき、是非ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和2年5月5日

久留米市長 大久保 勉